

交付図書の訂正について

令和6年12月13日付けで入札公告を行った「(工事名) 東北自動車道 R7北上管内遮音壁工事」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

なお、当社ホームページ掲載の交付図書についても、同日付で訂正したものに改めておりますので、再度、交付図書をご確認ください。

令和7年3月31日

契約責任者

東日本高速道路株式会社

東北支社長

【訂正内容】

- ・ 特記仕様書
- ・ 設計図

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください。

対象図書 (ページ)	誤	正
特記仕様書 (目次)	14. 環境保全に関する事項 12 15. 建設副産物の処理方法に関する事項 12 16. 部分使用に関する事項 13 17. 現場環境改善に関する事項 13 18. 工事用プレートに関する事項 13 19. 三者協議会に関する事項 14	14. 環境保全に関する事項 13 15. 建設副産物の処理方法に関する事項 13 16. 部分使用に関する事項 13 17. 現場環境改善に関する事項 13 18. 工事用プレートに関する事項 14 19. 三者協議会に関する事項 14
特記仕様書 (6頁)	8-6-1 定義 8-6-2 履行確認（週休2日確保の確認方法）	8-5-1 定義 8-5-2 履行確認（週休2日確保の確認方法）
特記仕様書 (7頁)	8-6-3 工期 8-7 週休2日工事に要する費用 8-7-1 補正対象項目及び補正方法 見積活用方式を採用する工事において、見積対象とした項目においては、最終参考見積書の内訳（材料、労務費、機械経費、その他、割掛費等）を確認し、週休2日に係る費用が含まれていないものについては、NEXCOの上木工事積算基準 第3.5編「週休2日（4週8休）工事の積算」の規定に基づき補正額を算出するものとする。 また、週休2日の確保を本特記仕様書8-6-2「履行確認（週休2日確保の確認方法）（2）」による確認後、4週8休以上の現場閉所率に満たないものは、請負代金額のうち補正分を減額変更するものとする。 なお、減額費用の算出方法等の取扱いについては、共通仕様書1-3.3-1「新準備」の規定によるものとし、見積対象とした項目においては、最終参考見積書に記載している週休2日に係る費用の内訳（材料、労務費、機械経費、その他、割掛費等）に基づき減額変更を行うものとする。最終参考見積書に内訳の記載がないものについては、NEXCOの上木工事積算基準 第3.5編「週休2日（4週8休）工事の積算」により減額費用を算出するものとする。 8-7-2 支払 週休2日工事に要する費用は、関連する単価項目の単価に含まれものとし、別途支払いは行わないものとする。	8-5-3 工期 8-6 週休2日工事に要する費用 8-6-1 補正対象項目及び補正方法 見積活用方式を採用する工事において、見積対象とした項目においては、最終参考見積書の内訳（材料、労務費、機械経費、その他、割掛費等）を確認し、週休2日に係る費用が含まれていないものについては、NEXCOの上木工事積算基準（4週8休）（令和6年度版）の規定に基づき補正額を算出するものとする。 また、週休2日の確保を本特記仕様書8-5-2「履行確認（週休2日確保の確認方法）（2）」による確認後、4週8休以上の現場閉所率に満たないものは、請負代金額のうち補正分を減額変更するものとする。 なお、減額費用の算出方法等の取扱いについては、共通仕様書1-3.3-1「新準備」の規定によるものとし、見積対象とした項目においては、最終参考見積書に記載している週休2日に係る費用の内訳（材料、労務費、機械経費、その他、割掛費等）に基づき減額変更を行うものとする。最終参考見積書に内訳の記載がないものについては、NEXCOの上木工事積算基準（4週8休）（令和6年度版）により減額費用を算出するものとする。 8-6-2 支払 週休2日工事に要する費用は、関連する単価項目の単価に含まれものとし、別途支払いは行わないものとする。
特記仕様書 (11頁)	13-7 保安に関する費用 本特記仕様書13-1「工事用車両の区別」、13-2「標識等の設置」、13-3「光通信ケーブル等損傷事故防止対策」、13-4「飛散防止対策」、13-5「工事に使用する移動用発電設備等について」、13-6「交通規制内の作業員の安全対策」に要する費用は諸経費に含まれものとし、別途支払は行わないものとする。	13-7 保安に関する費用 本特記仕様書13-1「工事用車両の区別」、13-2「標識等の設置」、13-3「光通信ケーブル等損傷事故防止対策」、13-4「飛散防止対策」、13-5「工事に使用する移動用発電設備等について」、13-6「交通規制内の作業員の安全対策」に要する費用は諸経費に含まれものとし、別途支払は行わないものとする。 13-8 第三者被害を想定した重大事故防止の取組み (1) 定義
特記仕様書 (12頁)	14. 環境保全に関する事項 14-1 砂塵等の防止 受注者は、工事用機械及び車両の走行による砂塵等の被害を第三者に及ぼさないよう善良な管理を行うものとする。	上事中の安全の確保については共通仕様書で規定しているところであるが、第三者への被害が想定される事故や供用中道路の通行止めや大渋滞に至る事故等（以下「重大事故リスク」という。）について、受発注者が一体となって安全向上に努める取組みをいう。 (2) 実施手順 1) 施工計画書への反映 受注者は、設計図書及び関係法令に基づき、重大事故リスクの抽出を行い、それらに対する安全対策について施工計画書に記載するものとする。 2) 受発注者間の協議 発注者は、受注者から監督員に施工計画書の提出がされたときは、受発注者合同で施工計画書に示された重大事故リスクに関して施工計画書及び設計図書並びに現場確認を通して安全対策に不足が無いを確認（以下「重大事故リスクマネジメント」という。）を行うものとする。受注者は協議の結果、施工計画書の修正が必要ときは修正された施工計画書を提出するとともに、受注者の全ての職員・作業員に対して実施すべき内容を伝達するとともに確実に実施すること。 3) 施工条件等の変更時の取扱い 発注者及び受注者は、施工条件等が変更となった場合は、前記1)・2)で抽出し対策を定めた内容に変更が生じるときは改めて、前記1)及び2)の手順により受発注者合同で重大事故リスクマネジメントを行うものとする。 (3) その他 重大事故リスクマネジメントの実施に要する費用は、諸経費に含まれものとし別途支払いは行わない。ただし、重大事故リスクマネジメントの結果、設計図書で示す現地条件以外に別途現地調査や技術的な検討が必要となることが明らかとなった場合は、実施方針等も含め別途受発注者間で協議して定めるものとする。 14. 環境保全に関する事項 14-1 砂塵等の防止 受注者は、工事用機械及び車両の走行による砂塵等の被害を第三者に及ぼさないよう善良な管理を行うものとする。
特記仕様書 (19頁・20頁)	遮音壁基礎ぐいの支払は、共通仕様書18-3-1「数量の検測」より検測された数量に対し、それぞれ1m当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う基礎ぐいの製作、その他材料の調達、打込み、現場溶接、セメントミルク注入、残土運搬、掘削、鉄筋の加工、運搬、組立、掘付、中詰め等基礎ぐいの施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。	遮音壁基礎ぐいの支払は、共通仕様書18-3-1「数量の検測」より検測された数量に対し、それぞれ1m当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う基礎ぐいの製作、その他材料の調達、打込み、現場溶接、セメントミルク注入、残土運搬、 収 均し、 掘 削、鉄筋の加工、運搬、組立、掘付、中詰め等基礎ぐいの施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。
特記仕様書 (21頁)	23-6-4 夜間巡回 (1) 巡回内容 車線規制（昼夜連続）及び夜間通行止めを実施する場合、規制実施区間の予告規制標識等の設置状況等を確認するため、車両による目視点検巡回を行うものとする。巡回時間は20時～翌6時までの間に、交通監視員2名1組の体制で2時間おきに実施するものとする。なお、巡回を実施する交通監視員は、交通規制内で一般車への注意喚起及び規制材の保守を実施する監視員以外の人員で実施するものとする。	23-6-4 夜間巡回 (1) 巡回内容 車線規制（昼夜連続）を実施する場合、規制実施区間の予告規制標識等の設置状況等を確認するため、車両による目視点検巡回を行うものとする。巡回時間は20時～翌6時までの間に、交通監視員2名1組の体制で2時間おきに実施するものとする。なお、巡回を実施する交通監視員は、交通規制内で一般車への注意喚起及び規制材の保守を実施する監視員以外の人員で実施するものとする。
特記仕様書 (添付資料別添1)	(未添付)	「別添－1 東北自動車道 R7北上管内遮音壁工事 三者協議会協定書(案)」
特記仕様書 (添付資料別添2)	(未添付)	「別添－2 実績価格調査票の提出について」

対象
設計図
(3/23)

誤

数量総括表（その1）

323

項目番号	単価項目名称	単位	数 量	備 考
2-(6)	構造物掘削 特種型A	m ³	42.9	
2-(7)	構造物基礎込み工 埋戻し土B	m ³	29.8	
2-(8)	基礎材 目	m ³	1.4	
5-(1)	用・排水溝 Dv-Pu・O・24・O・24	m	4.8	
5-(3)	集水ます タイプB-A	箇所	1.0	Bc=0.50・0.50・0.50
8-(1)	コンクリート B5-1	m ³	12.2	σ c k=24N/mm ²
8-(1)	コンクリート D1-1	m ³	0.9	σ c k=18N/mm ²
8-(2)	型枠 C	m ²	27.4	
8-(2)	型枠 D	m ²	1.6	
8-(3)	鉄筋 A	t	0.024	S D345 フーチング基礎D13鉄筋
		t	0.496	S D345 フーチング基礎D16・D25鉄筋

東北自動車道
R7北上管内盛替工事

図書の種類数量総括表（その1）

縮 尺

—

図面番号

—

事務所名

東日本高速道路㈱ 東北支社
北 上 管 理 事 務 所

正

数量総括表（その1）

323

項目番号	単価項目名称	単位	数 量	備 考
2-(6)	構造物掘削 特種型A	m ³	42.9	
2-(7)	構造物基礎込み工 埋戻し土B	m ³	29.8	
2-(8)	基礎材 目	m ³	1.4	
5-(1)	用・排水溝 Dv-Pu・O・24・O・24	m	4.8	
5-(3)	集水ます タイプB-A	箇所	1.0	Bc=0.50・0.50・0.50
8-(1)	コンクリート B5-1	m ³	12.2	σ c k=24N/mm ²
8-(1)	コンクリート D1-1	m ³	0.9	σ c k=18N/mm ²
8-(2)	型枠 C	m ²	27.4	
8-(2)	型枠 D	m ²	1.6	
8-(3)	鉄筋 A	t	0.024	S D345 フーチング基礎D13鉄筋
		t	0.496	S D345 フーチング基礎D16鉄筋

東北自動車道
R7北上管内盛替工事

図書の種類数量総括表（その1）

縮 尺

—

図面番号

—

事務所名

東日本高速道路㈱ 東北支社
北 上 管 理 事 務 所

対象
設計図
(4/23)

誤

数量総括表（その2）

4 23

項目番号	単価項目名称	単位	数量	換 算																
項目	種類	単位	形状	単位 数量	既設 ① ～ ②	③ ～ ④	⑤ ～ ⑥	⑦ ～ ⑧	⑨ ～ ⑩	⑪ ～ ⑫	合計 (個 数)	合計 (体 積)	備考							
遮音板	金属板	鉄	500 x 95 x 3960	-	1	2					4	7	-	上壁遮音板						
			500 x 95 x 3769	-						1	1	-	上壁遮音板							
			500 x 95 x 2200	-			1					1	-	上壁遮音板						
			500 x 95 x 1960	-				1				1	-	上壁遮音板						
			500 x 95 x 1960	-					1	1		2	-	附 上壁遮音板						
			500 x 95 x 3960	-	7	14						28	49	-	提出し部は計					
			500 x 95 x 3769	-							7	7	-	提出し部は計						
			500 x 95 x 2200	-				7				7	-	提出し部は計						
			500 x 95 x 1960	-					7			7	-	提出し部は計						
			500 x 95 x 1960	-						12	12		24	-	附					
			500 x 95 x 3960	-	4	8						16	26	-						
			500 x 95 x 3769	-							4	4	-							
	500 x 95 x 2200	-				4				4	-									
	500 x 95 x 1960	-					4			4	-									
	356 x 95 x 1960	-						1	1		2	-	附							
	500 x 95 x 3960	-	7	4						8	14	-								
	500 x 95 x 3769	-								2	2	-								
	500 x 95 x 2200	-				2					2	-								
	500 x 95 x 1960	-					2				2	-								
	コンクリート版																			
	固定金具	金属板用	ケ	H-175用	-	20	40	20	20	20	20	80	240	-						
		金属板取付用		H-150用	-	4	8	4	4	4	4	16	48	-						
		コンクリート板用			-	2	4	2	2	2	2	8	24	-						
					-	4	8	4	4			4	16	40	-					
支柱	H	kg	340 x 250 x 9 x 9 x 14 x 4150	324	2	1	1	1	1	1	3	10	3240	SS400						
			175 x 175 x 7 x 7 x 11 x 4661	188	7	1	1	1	1	1	3	10	1880							
PL	I	kg	170~250 x 12 x 527	11	2	1	1	1	1	1	3	10	110							
			84 x 6 x 2250	18	4	2	2			2	6	16	288	SS400						
			84 x 6 x 2250	9					1	1		2	18							
			85 x 6 x 2106	8						1	1	2	16							
			180 x 75 x 7 L=1750	16						1	1	2	32							
	I	kg	180 x 75 x 7 L=500	11						1	1	2	22							
			180 x 75 x 7 L=445	10						1	1	2	20							
			12 x 75 x 370	6						2	2	4	24	SS400						
			8 x 75 x 1180	4						4	4	17	77							
			W16 オックスアンカー	-						2	2		4	-						
ANCHOR	kg	W16 オックスアンカー	-						4	4		8	-							
		ANCHOR																		
土留の板	鉄	鉄	500 x 90 x 3960	-	1	2					4	7	-							
			500 x 90 x 3769	-							1	1	-							
			500 x 90 x 2200	-			1					1	-							
			500 x 90 x 1960	-				1				1	-							
			500 x120x 3960	-	1	2						4	7	-						
			500 x120 x 3769	-							1	1	-	プレキャスト配板						
			500 x120 x 2200	-			1					1	-							
			500 x 120 x 1960	-				1				1	-							
			500 x 120 x 1060	-					1	1		2	-							
			344 x 90 x 1420	-					1	1		2	-							
			300 x 90 x 1420	-						1	1	2	-							
			コンクリート	B1-3	m ²		-	0.36	0.18	0.18	0.18	0.18	0.54	1.80	-	中詰めコンクリート (σck=24N/mm2)				
			鉄筋	A	kg	D10 x 11800	7	2	1	1	1	1	1	3	10	70	スバイル鉄筋 S5045			
			ワルタル	1	2	m ²		-	0.09	0.10	0.09	0.09	0.04	0.09	0.29	0.96	-	土留板止め用		
型枠	B	m ²		-	0.42	0.84	0.42	0.42	0.41	0.41	1.68	5.02	-	土留板止め用						
遮音板 落下防止装置	遮音板	W	1+1.5		-	7	1	1	1	1	3	10	-							
	落下防止ワイヤ	kg	φ6.3(7x1955/0)x5540	1.4	2	1	1	1	1	4	9	12.4	-							
			φ8.3(7x1955/0)x14252	2.3					1	1	2	4.6	-							
低設防壁補強支柱防振処理	本			-	1	2					3	6	-	関係詳細図表に示す取扱いに準ずるもの						

東北自動車道 R7北上管内高倉壁工事	
図書の種類	数量総括表（その2）
縮 尺	— 図面番号 —
事務所名	東北土木高倉壁事務所 東北支社 北 上 管 理 事 務 所

数量総括表（その3）

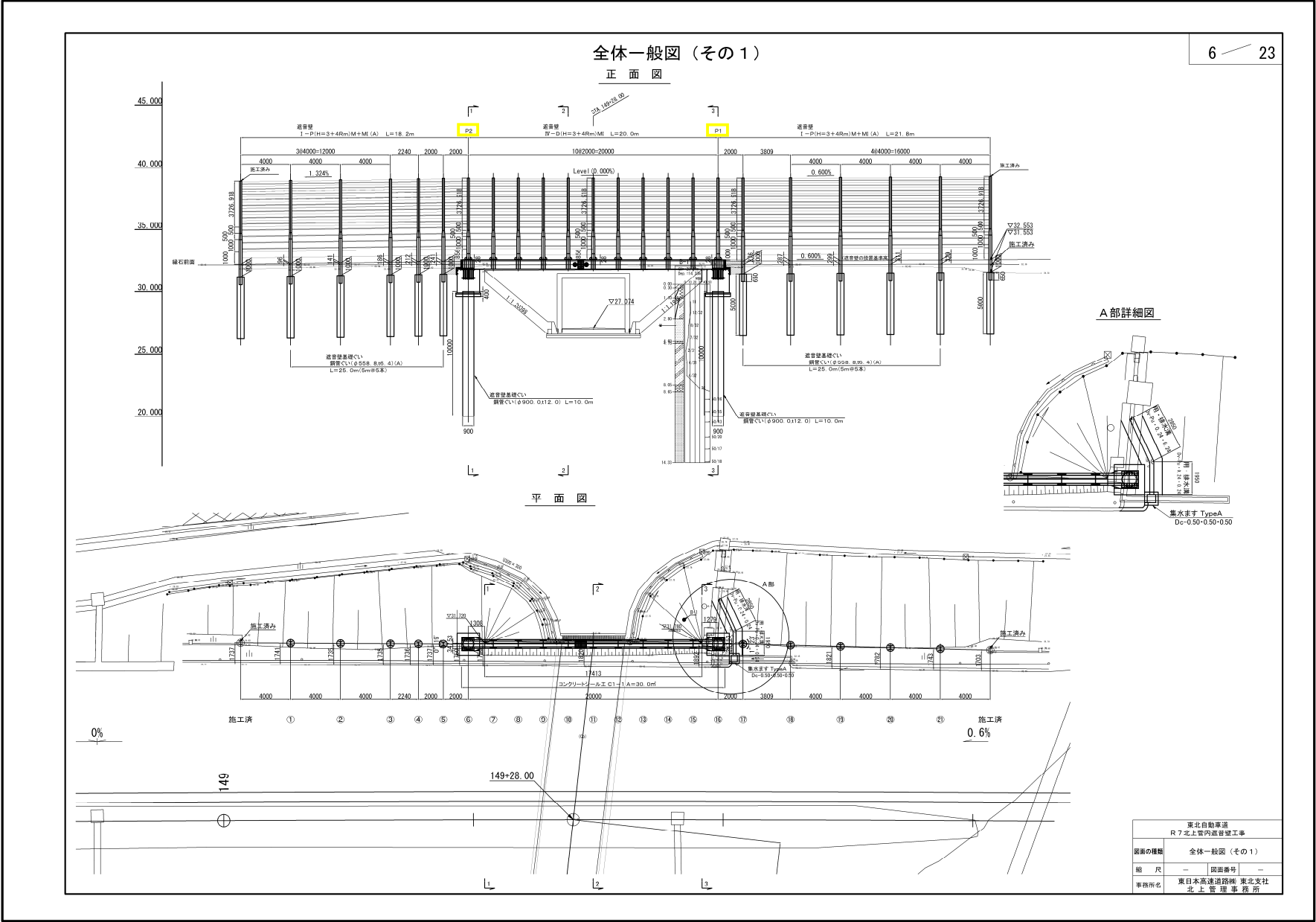
項目番号				座席項目名称		単位	数量	備 考				
18-(5)	遮音壁 IV-D (H=3+4Rm) M I	m	20.0	項目		種類	単位	形状	単位 質量	標準 ⑤ 等	合計 (個 数)	備考
									遮音板	金属板	枚	
				500 x 95 x 1960	-	120	120	-	MI			
				356 x 95 x 1960	-	10	10	-	MI			
				固定金具	金属板用	ヶ	H-175用	-	200	200	-	
				金属板垂直段用	ヶ	H-150用	-	80	80	-		
				20	20	-						
				支柱	H	kg	340 x 250 x 9 x 14 x 2356	184	11	11	2024	
				170 x 175 x 7.5 x 11 x 4661	188	11	11	2068				
				PL		kg	170~250 x 12 x 527	11	11	11	121	
				84 x 6 x 2106	16	22	22	352				
				580 x 32 x 700	102	11	11	1122	S5400			
				155 x 12 x 290	12	44	44	528				
				150 x 12 x 170	12	66	66	792				
				遮音板 落下防止装置	ワイヤ止め金具	枚	t=1.5	-	11	11	-	SUS301-GSP
遮音板落下防止ワイヤ			φ6.3(7x1955/0)+17252	2.8	10	10	28	JIS G 3550準拠 8種				
	シール材	枚	100 x 30 x 1420	-	10	10	-	クロロブレンゴムまたはEPDM 密度0.19±0.03g/cm³				
	既設防護欄支柱防護処理	本		-	4	4	-	防護欄標準図案に示す規格に適合するもの				
種別		単位	数量	備考								
製作材料費（鋼板） A	t	9.185	S5400、SMA400 溶融亜鉛メッキを含む 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする									
製作材料費（彩鋼） A	t	0.104	鋼板・スタッドジベル以外の材料(FB、L、STK、PIPE、RS) 溶融亜鉛メッキ対象外 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする									
製作材料費（彩鋼） B	t	0.448	アンカーフレーション用ボルト・ナット うち溶融亜鉛メッキ対象は0.386t 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする									
大型部材の製作	個	10	主桁のフランジ、ウェブ等 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする									
小型部材の製作	t	7.767	補剛材、ダイヤフラム、スプライズ、仕口等 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする									
T継手溶接工	m	1.874	主桁のフランジ・ウェブどうしの継手溶接実長 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする									
板継ぎ溶接工	m	168.0	主桁のフランジ・ウェブどうしの板継ぎ溶接実長 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする									
アンカーフレーションの製作	t	0.306	アンカーフレーション用ボルト・ナットの数量は、含まない 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする									
鋼束の搬送	t	8.951										
アンカーフレーションの搬送	t	0.730										
鋼束の架設	t	8.951										
アンカーフレーションの架設	t	0.730										
高力ボルト本締工	t	0.150	高力ボルト総数 F81(256組)									
18-(8)	支柱落下防止装置 HS-C	箇所	1.0	L=20.0m								
18-(11)	遮音壁基礎ぐい 鋼管ぐい (φ558、8、0、t6、4) (A)	m	50.0	STK400 鋼管杭φ558 8 t=6.4mm								
18-(11)	遮音壁基礎ぐい 鋼管ぐい (φ900、0、t12、0)	m	20.0	SKK400 鋼管杭φ900 t=12mm								
18-(15)	コンクリートシール工 G1-1	m²	30.0	t=10cm								
特-(1)	掘土工 埋戻基礎	箇所	1.0									
特-(1)	掘土工 落下物防止柵	m	17.5									
特-(1)	掘土工 用・排水溝	m	4.5	Dv-Pu・0.24・0.24								
特-(1)	掘土工 用・排水溝	m	2.1	Dv-PuL・0.30・0.30								

数量総括表（その3）

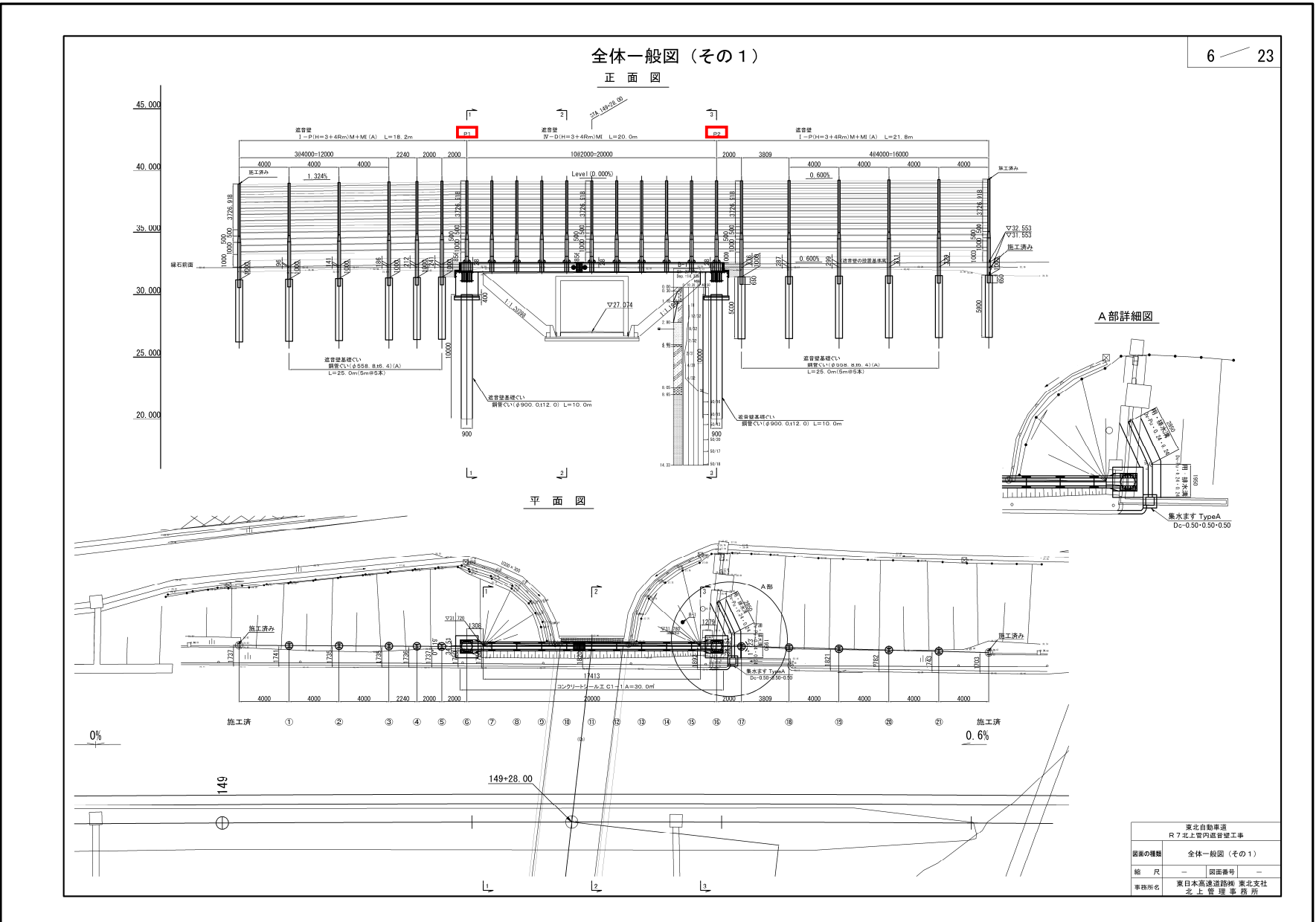
項目番号				単価項目名称		単位	数	量	備 考																																																																																																																																																																																																														
18-(5)	遮音壁 IV-D (H=3+4Rm) M I	m	20.0	<table><tr><th>項目</th><th>種別</th><th>単位</th><th>形状</th><th>単位 質量</th><th>標準 ⑤ 等</th><th>合計 (個 数)</th><th>合計 (質量)</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">遮音板</td><td rowspan="3">金属板</td><td rowspan="3">枚</td><td>500 x 95 x 1960</td><td>-</td><td>10</td><td>10</td><td>-</td><td>MI 上形遮音板</td></tr><tr><td>500 x 95 x 1960</td><td>-</td><td>120</td><td>120</td><td>-</td><td>MI</td></tr><tr><td>356 x 95 x 1960</td><td>-</td><td>10</td><td>10</td><td>-</td><td>MI</td></tr><tr><td rowspan="2">固定金具</td><td rowspan="2">金属板用</td><td rowspan="2">ヶ</td><td>H-175用</td><td>-</td><td>200</td><td>200</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td>H-150用</td><td>-</td><td>80</td><td>80</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">金属板底下用</td><td rowspan="2">ヶ</td><td></td><td>-</td><td>20</td><td>20</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td></td><td>-</td><td>20</td><td>20</td><td>-</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">支柱</td><td rowspan="2">H</td><td rowspan="2">kg</td><td>340 x 250 x 9 x 14 x 2356</td><td>184</td><td>11</td><td>11</td><td>2024</td><td></td></tr><tr><td>170 x 175 x 7.5 x 11 x 4661</td><td>188</td><td>11</td><td>11</td><td>2068</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">PL</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">kg</td><td>170~250 x 12 x 527</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>121</td><td></td></tr><tr><td>84 x 6 x 2106</td><td>16</td><td>22</td><td>22</td><td>352</td><td></td></tr><tr><td>580 x 32 x 700</td><td>102</td><td>11</td><td>11</td><td>1122</td><td>S5400</td></tr><tr><td>155 x 12 x 200</td><td>12</td><td>44</td><td>44</td><td>528</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">kg</td><td>150 x 12 x 170</td><td>12</td><td>66</td><td>66</td><td>792</td><td></td></tr><tr><td>t=1.5</td><td>-</td><td>11</td><td>11</td><td>-</td><td>SUS301-GSP</td></tr><tr><td>遮音板 落下防止装置</td><td>ワイヤ止め金具</td><td>枚</td><td>φ6.3(7x1955/0)+17252</td><td>2.8</td><td>11</td><td>11</td><td>30.3(18.6-3550準拠 8種</td><td></td></tr><tr><td></td><td>シール材</td><td>枚</td><td>100 x 30 x 1420</td><td>-</td><td>10</td><td>10</td><td>-</td><td>クロロブレンゴムまたはEPDM 密度0.19±0.05g/cm</td></tr><tr><td></td><td>既設防護欄支柱防護処理</td><td>本</td><td></td><td>-</td><td>4</td><td>4</td><td>-</td><td>防護欄標準図案に示す規格に適合するもの</td></tr></table>						項目	種別	単位	形状	単位 質量	標準 ⑤ 等	合計 (個 数)	合計 (質量)	備考	遮音板	金属板	枚	500 x 95 x 1960	-	10	10	-	MI 上形遮音板	500 x 95 x 1960	-	120	120	-	MI	356 x 95 x 1960	-	10	10	-	MI	固定金具	金属板用	ヶ	H-175用	-	200	200	-		H-150用	-	80	80	-			金属板底下用	ヶ		-	20	20	-			-	20	20	-		支柱	H	kg	340 x 250 x 9 x 14 x 2356	184	11	11	2024		170 x 175 x 7.5 x 11 x 4661	188	11	11	2068		PL		kg	170~250 x 12 x 527	11	11	11	121		84 x 6 x 2106	16	22	22	352		580 x 32 x 700	102	11	11	1122	S5400	155 x 12 x 200	12	44	44	528				kg	150 x 12 x 170	12	66	66	792		t=1.5	-	11	11	-	SUS301-GSP	遮音板 落下防止装置	ワイヤ止め金具	枚	φ6.3(7x1955/0)+17252	2.8	11	11	30.3(18.6-3550準拠 8種			シール材	枚	100 x 30 x 1420	-	10	10	-	クロロブレンゴムまたはEPDM 密度0.19±0.05g/cm		既設防護欄支柱防護処理	本		-	4	4	-	防護欄標準図案に示す規格に適合するもの	<table><tr><th>種別</th><th>単位</th><th>数量</th><th>備考</th></tr><tr><td>製作材料費（鋼板） A</td><td>t</td><td>9.185</td><td>S5400、SMA400 溶融亜鉛メッキを含む 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする</td></tr><tr><td>製作材料費（鋼板） A</td><td>t</td><td>0.104</td><td>鋼板・スタッドジベル以外の材料(FB、L、STK、PIPE、RS) 溶融亜鉛メッキ対象外 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする</td></tr><tr><td>製作材料費（鋼板） B</td><td>t</td><td>0.448</td><td>アンカーフレーション用ボルト・ナット うち溶融亜鉛メッキ対象は0.386t 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする</td></tr><tr><td>大型部材の製作</td><td>個</td><td>10</td><td>主桁のフランジ、ウェブ等 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする</td></tr><tr><td>小型部材の製作</td><td>個</td><td>187</td><td>補剛材、ダイヤフラム、スプライズ、仕口等 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする</td></tr><tr><td>T継手溶接工</td><td>m</td><td>168.0</td><td>主桁のフランジ・ウェブどうしのT継手溶接実長 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする</td></tr><tr><td>板継ぎ溶接工</td><td>m</td><td>14.0</td><td>主桁のフランジ・ウェブどうしの板継ぎ溶接実長 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする</td></tr><tr><td>アンカーフレーションの製作</td><td>t</td><td>0.306</td><td>アンカーフレーション用ボルト・ナットの数量は、含まない 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする</td></tr><tr><td>鋼束の搬送</td><td>t</td><td>8.951</td><td></td></tr><tr><td>アンカーフレーションの搬送</td><td>t</td><td>0.730</td><td></td></tr><tr><td>鋼束の架設</td><td>t</td><td>8.951</td><td></td></tr><tr><td>アンカーフレーションの架設</td><td>t</td><td>0.730</td><td></td></tr><tr><td>高力ボルト本締工</td><td>t</td><td>0.150</td><td>高力ボルト総数 F81(256組)</td></tr></table>						種別	単位	数量	備考	製作材料費（鋼板） A	t	9.185	S5400、SMA400 溶融亜鉛メッキを含む 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする	製作材料費（鋼板） A	t	0.104	鋼板・スタッドジベル以外の材料(FB、L、STK、PIPE、RS) 溶融亜鉛メッキ対象外 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする	製作材料費（鋼板） B	t	0.448	アンカーフレーション用ボルト・ナット うち溶融亜鉛メッキ対象は0.386t 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする	大型部材の製作	個	10	主桁のフランジ、ウェブ等 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする	小型部材の製作	個	187	補剛材、ダイヤフラム、スプライズ、仕口等 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする	T継手溶接工	m	168.0	主桁のフランジ・ウェブどうしのT継手溶接実長 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする	板継ぎ溶接工	m	14.0	主桁のフランジ・ウェブどうしの板継ぎ溶接実長 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする	アンカーフレーションの製作	t	0.306	アンカーフレーション用ボルト・ナットの数量は、含まない 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする	鋼束の搬送	t	8.951		アンカーフレーションの搬送	t	0.730		鋼束の架設	t	8.951		アンカーフレーションの架設	t	0.730		高力ボルト本締工	t	0.150	高力ボルト総数 F81(256組)
				項目	種別	単位	形状	単位 質量	標準 ⑤ 等	合計 (個 数)	合計 (質量)	備考																																																																																																																																																																																																											
				遮音板	金属板	枚	500 x 95 x 1960	-	10	10	-	MI 上形遮音板																																																																																																																																																																																																											
							500 x 95 x 1960	-	120	120	-	MI																																																																																																																																																																																																											
							356 x 95 x 1960	-	10	10	-	MI																																																																																																																																																																																																											
				固定金具	金属板用	ヶ	H-175用	-	200	200	-																																																																																																																																																																																																												
							H-150用	-	80	80	-																																																																																																																																																																																																												
					金属板底下用	ヶ		-	20	20	-																																																																																																																																																																																																												
								-	20	20	-																																																																																																																																																																																																												
				支柱	H	kg	340 x 250 x 9 x 14 x 2356	184	11	11	2024																																																																																																																																																																																																												
							170 x 175 x 7.5 x 11 x 4661	188	11	11	2068																																																																																																																																																																																																												
				PL		kg	170~250 x 12 x 527	11	11	11	121																																																																																																																																																																																																												
							84 x 6 x 2106	16	22	22	352																																																																																																																																																																																																												
							580 x 32 x 700	102	11	11	1122	S5400																																																																																																																																																																																																											
							155 x 12 x 200	12	44	44	528																																																																																																																																																																																																												
		kg	150 x 12 x 170	12	66	66	792																																																																																																																																																																																																																
			t=1.5	-	11	11	-	SUS301-GSP																																																																																																																																																																																																															
遮音板 落下防止装置	ワイヤ止め金具	枚	φ6.3(7x1955/0)+17252	2.8	11	11	30.3(18.6-3550準拠 8種																																																																																																																																																																																																																
	シール材	枚	100 x 30 x 1420	-	10	10	-	クロロブレンゴムまたはEPDM 密度0.19±0.05g/cm																																																																																																																																																																																																															
	既設防護欄支柱防護処理	本		-	4	4	-	防護欄標準図案に示す規格に適合するもの																																																																																																																																																																																																															
種別	単位	数量	備考																																																																																																																																																																																																																				
製作材料費（鋼板） A	t	9.185	S5400、SMA400 溶融亜鉛メッキを含む 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする																																																																																																																																																																																																																				
製作材料費（鋼板） A	t	0.104	鋼板・スタッドジベル以外の材料(FB、L、STK、PIPE、RS) 溶融亜鉛メッキ対象外 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする																																																																																																																																																																																																																				
製作材料費（鋼板） B	t	0.448	アンカーフレーション用ボルト・ナット うち溶融亜鉛メッキ対象は0.386t 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする																																																																																																																																																																																																																				
大型部材の製作	個	10	主桁のフランジ、ウェブ等 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする																																																																																																																																																																																																																				
小型部材の製作	個	187	補剛材、ダイヤフラム、スプライズ、仕口等 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする																																																																																																																																																																																																																				
T継手溶接工	m	168.0	主桁のフランジ・ウェブどうしのT継手溶接実長 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする																																																																																																																																																																																																																				
板継ぎ溶接工	m	14.0	主桁のフランジ・ウェブどうしの板継ぎ溶接実長 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする																																																																																																																																																																																																																				
アンカーフレーションの製作	t	0.306	アンカーフレーション用ボルト・ナットの数量は、含まない 規格等は「土木工事共通仕様書 第10章 鋼構造物工」、「設計要領 第二集 橋梁建設編 7.鋼構」、「構造物施工管理要領 3.鋼構造物」及び「設計図書」によるものとする																																																																																																																																																																																																																				
鋼束の搬送	t	8.951																																																																																																																																																																																																																					
アンカーフレーションの搬送	t	0.730																																																																																																																																																																																																																					
鋼束の架設	t	8.951																																																																																																																																																																																																																					
アンカーフレーションの架設	t	0.730																																																																																																																																																																																																																					
高力ボルト本締工	t	0.150	高力ボルト総数 F81(256組)																																																																																																																																																																																																																				
18-(8)	支柱落下防止装置 HS-C	箇所	1.0	L=20.0m																																																																																																																																																																																																																			
18-(11)	遮音壁基礎ぐい 鋼管ぐい (φ558、8、0、t6、4) (A)	m	50.0	STK400 鋼管杭φ558 8 t=6.4mm																																																																																																																																																																																																																			
18-(11)	遮音壁基礎ぐい 鋼管ぐい (φ900、0、t12、0)	m	20.0	SKK400 鋼管杭φ900 t=12mm																																																																																																																																																																																																																			
18-(15)	コンクリートシール工 G1-1	m ²	30.0	t=10cm																																																																																																																																																																																																																			
特-(1)	掘土工 埋戻基礎	箇所	1.0																																																																																																																																																																																																																				
特-(1)	掘土工 落下物防止柵	m	17.5																																																																																																																																																																																																																				
特-(1)	掘土工 用・排水溝	m	4.5	Dv-Pu・0.24・0.24																																																																																																																																																																																																																			
特-(1)	掘土工 用・排水溝	m	2.1	Dv-PuL・0.30・0.30																																																																																																																																																																																																																			

対象
設計図
(6/23)

誤

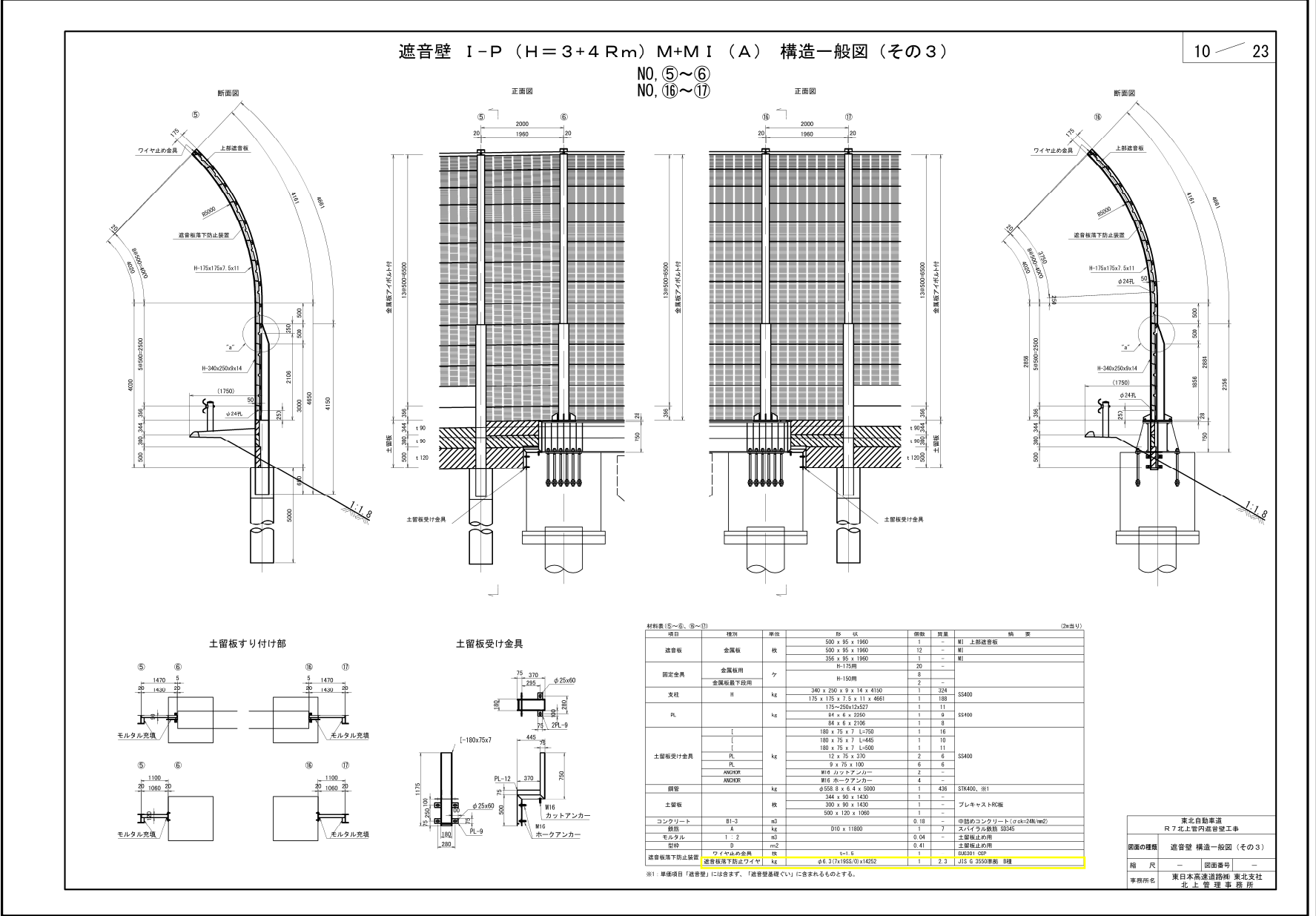


正

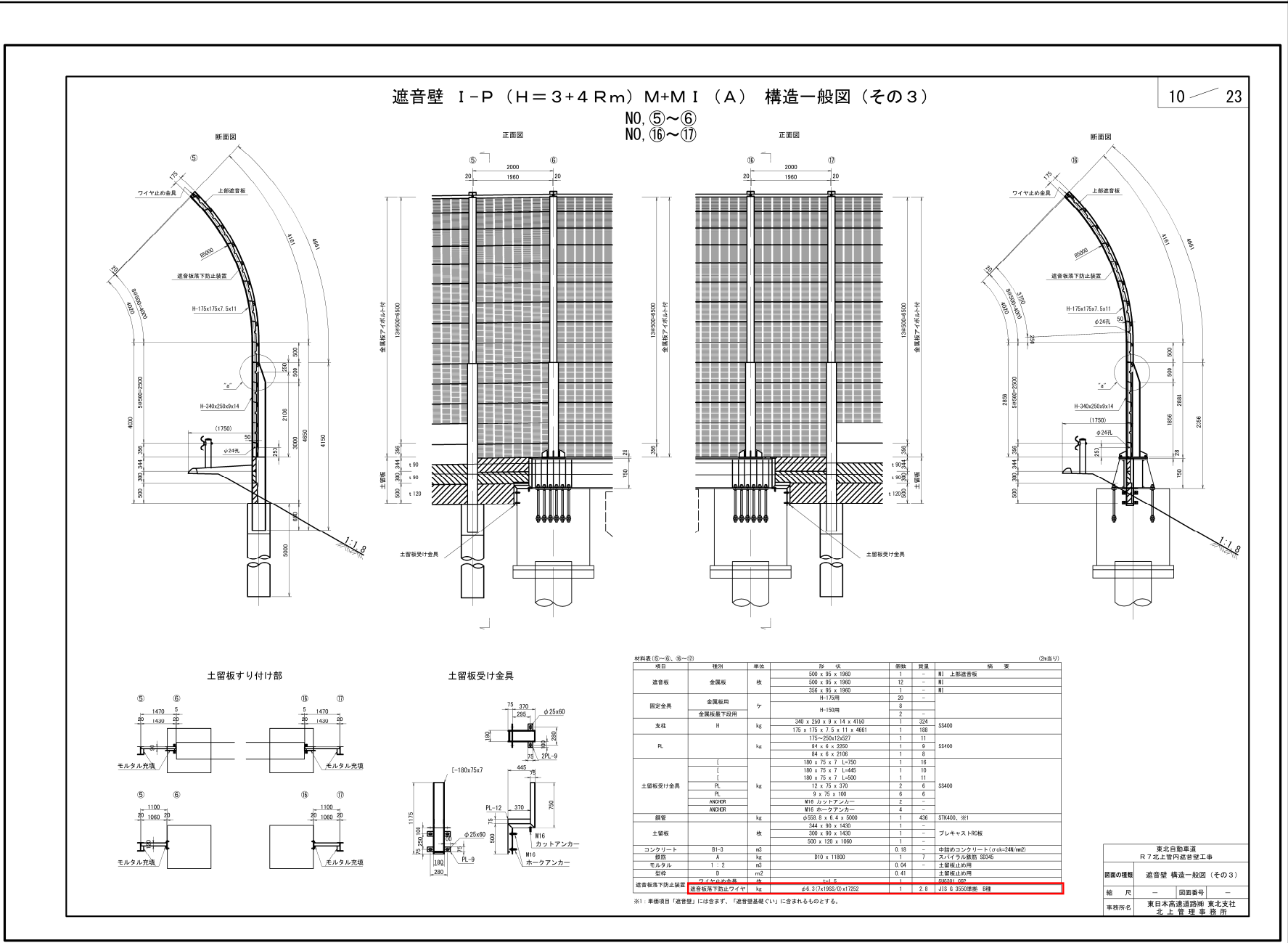


対象
設計図
(10/23)

誤

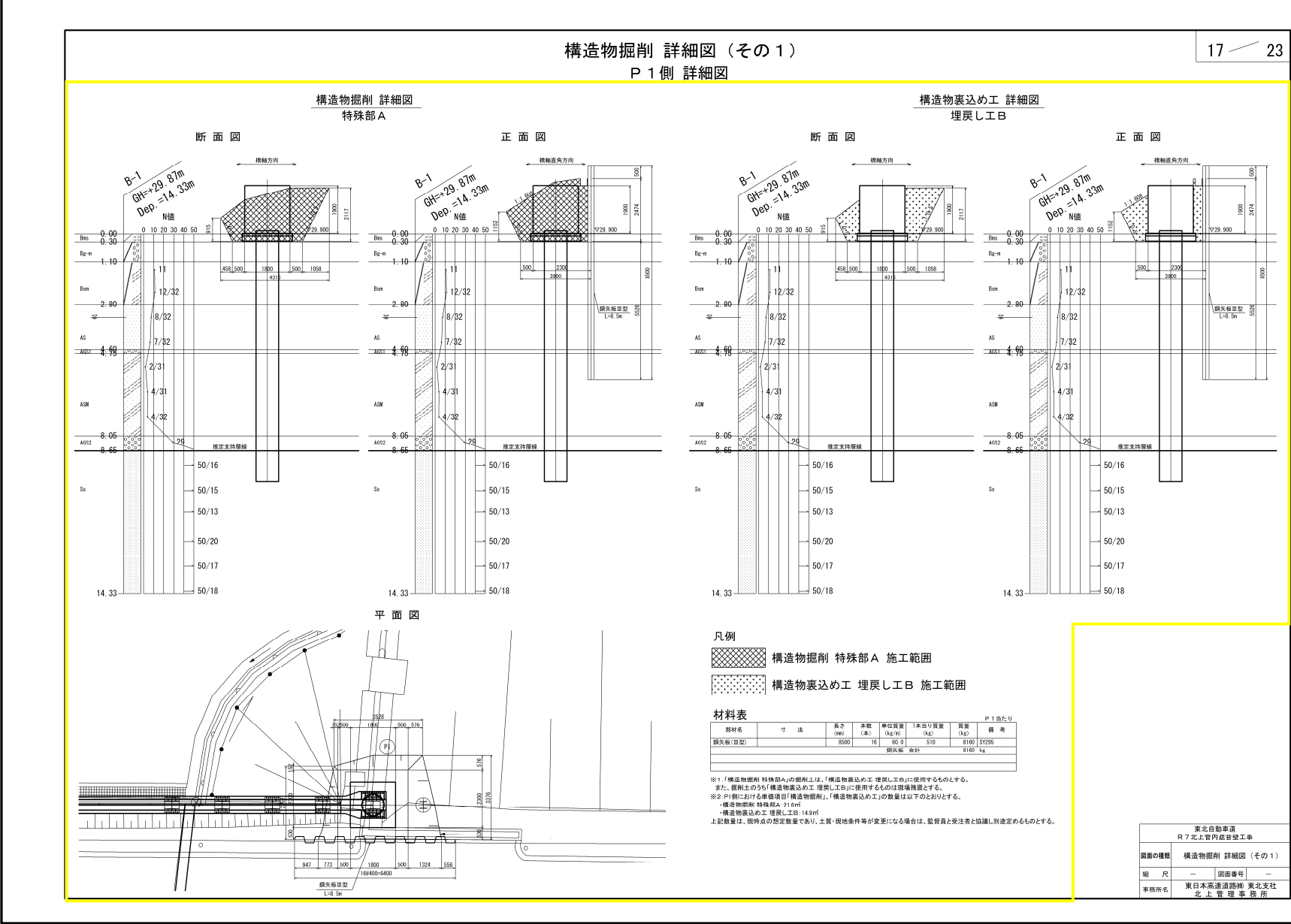


正



対象
設計図
(17/23)

誤



正

